

教育研究活動報告書

| | | | | |
|--|--|-------------------------|--------------------|--|
| ふりがな 氏名 | くわはら まきおみ 桑原 雅臣 | 所属・職名 | 食物栄養学科／情報処理共通教育・教授 | |
| 専門領域 | 情報工学（ソフトウェア工学）、高分子物性学（X線回折結晶学） | 学位称号 | 工学修士. 1977(昭52) | |
| 最終学歴 | 1977(昭52)山梨大学大学院工学研究科高分子化学専攻（修士課程）修了 | | | |
| 資格・免許等 | 高等学校教諭一種免許状（工業） | | | |
| 教育上の能力に関する事項 | | | | |
| 担当科目 | 情報リテラシーⅠ・情報リテラシーⅡ・情報リテラシーⅢ・卒業研究・あすなろう・あすなろう体験・共に学ぶあすなろう(以上短大部)、情報処理基礎(西九大子ども学部同学科)、たのしいパソコンくらし百科(本学生涯学習センター講座) | | | |
| 教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の情報処理教育を、従来の情報科学系の内容から情報リテラシー（PCのビジネス&生活ツール活用技能教育）重点指導のための刷新カリキュラムに全面改訂し、その移行実施案と実際の教育内容の策定および授業方法等の検討について、その中核として活動した。 2. 同新教育実施に伴う学期初め短期集中情報リテラシー授業展開の組織化とその実施を推進し、全体の調整役として活動した。 3. 情報処理教育担当教員として、同情報リテラシー教育の実施インフラとなる学内ネットワーク上の各種共有教育情報コンテンツの作成と整備及び学内 LAN 主任管理者（当時）としての日々のシステム保守・管理業務を通して、全学の IT 援用による新しい学習環境創出の推進と支援の中核としての活動を行なっている。 4. 学生に対する情報リテラシー能力別教育と課題達成型教育を柱とした新教育形態の創出と実施に対し、中心的に実践推進した。 5. e-ラーニング教育の推進と支援のため、学内教員に対する啓発と制作技術研修会の開催による電子教材活用の普及活動を実施している。また、実際にプロトタイプ・ウェブ教材を利用した模擬授業の試験的展開と媒体導入に対する学習環境調査および利用者からの意見情報の収集活動も並行して行なっている。 6. Java 言語習得用の e-ラーニング用ウェブ電子テキストを自作し、担当教科目授業の中で副教材として試験的に使用することにより、受講学生達の多様な学習嗜好などを反映することでより充実した電子教材媒体の制作活動を行なっている。 7. コンピュータによる画像処理技術と電子撮影機器類を活用した食育支援用媒体としてのデジタル・アニメーション教材の開発研究とその教育指導を、食物栄養学科 1・2 年次学生達との協働コラボレーション形態（共に学ぶあすなろう(栄養)）授業として実施し、本短期大学の特徴ある一般教育科目としての斬新な教育方法の改善活動を推進している。 8. 県内 3 大学（放送大学含む）3 短大連携活動の大学コンソーシアム佐賀遠隔授業部会委員として当該大学短大共同 e-ラーニング授業展開への支援と推進を行なっている。 | | | |
| 職務上の実績に関する事項 | | | | |
| 佐賀短期大学教務部部長（兼任）（2009(平21)年3月迄） 自己点検・評価検討委員会及び授業評価委員会両委員長(現在に至る) HP 企画委員会委員長(現在に至る) 食物栄養学科クラス担任(現在に至る) | | | | |
| 研究業績等に関する事項 | | | | |
| 《 平成18年度～平成22年度 》 | | | | |
| 著書・学術論文等の名称 | 単著・ 共著の別 | 発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 発行又は 発表の年月 | |

| | | | |
|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ eラーニング導入準備のための学生への意識調査 ー効果的な電子教材制作を目指してー ・ 学科イベント「環境フォーラム」の意義について ー平成 17 年度環境フォーラムのアンケート調査からの一考ー ・ オブジェクト指向型知識ベースの提案 ープロトタイプ・エキスパートシステムの設計についてー ・ 有明海を資源とした環境教育の実践報告 ・ 体験型学習による教育方法の改善を目指して (第1報) ー一般教育教養科目「あすなろう体験」授業の検証ー ・ 食育実践への取組み (第一報) ー食育支援デジタル教材の制作活動ー ・ コンピュータを活用した食育支援媒体の制作 ー食育普及デジタル・アニメーションの制作活動ー ・ S 高校生の体組成と食物摂取状況 ・ 高大連携の実践と推進を目指して ー食物栄養学科と県立佐賀工業高校とのコラボレーション活動をモデルとしてー ・ 短大・大学における情報スキルとリテラシー教育について (第1報) ーどのように学習するかを学ぶためにー ・ 食育実践の取組み (第2報) | <p>単著</p> <p>共著</p> <p>単著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> | <p>西九州大学・佐賀短期大学紀要第 3 6 号 pp.147-153 (2005).</p> <p>西九州大学・佐賀短期大学紀要第 3 7 号 pp155.-159(2006).</p> <p>西九州大学・佐賀短期大学紀要第 3 7 号 pp141.-147(2006)</p> <p>佐賀短期大学紀要第 3 8 巻</p> <p>佐賀短期大学紀要第 3 8 巻</p> <p>佐賀短期大学紀要第 3 8 巻</p> <p>佐賀短期大学紀要第 3 8 巻</p> <p>佐賀短期大学紀要第 3 9 巻</p> <p>西九州大学短期大学部紀要第 4 0 巻</p> <p>西九州大学短期大学部紀要第 4 0 巻</p> <p>西九州大学短期大学部紀要第 4 1 巻</p> | <p>2006(平 18). 3</p> <p>2007(平 19). 3</p> <p>2007(平 19). 3</p> <p>2008(平 20). 3</p> <p>2008(平 20). 3</p> <p>2008(平 20). 3</p> <p>2008(平 20). 3</p> <p>2009(平 21). 3</p> <p>2010(平 22). 3</p> <p>2010(平 22). 3</p> <p>2011(平 23). 3 (印刷中)</p> |
| <p>研究助成等</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 文部科学省 平成 18 年度私立大学等経常経費補助金特別補助 (教育・学習方法等改善支援経費ー教育・学習方法等の改善の為の組織的取組み) 、学生達が積極的に閲覧と活用ができる斬新な「新版ー学生便覧」の制作 (学園生活支援に効果的なキャンパスガイド・ハンドブック) による新編冊子編纂活動と出版・配布 2. 文部科学省 平成 19 年度私立大学等経常経費補助金特別補助 (教育・学習方法等改善支援経費ー教育・学習方法等の改善のための組織的取組み) 、 「食育普及活動推進の為の電子アニメーション教材の制作」によるハードウェア及びソフトウェアの導入 | | |
| <p>学会及び社会における活動等</p> | | | |
| <p>(社)情報処理学会 教育システム情報学会</p> | | | |